

# mdast-qrcode

Markdown に QR code を埋め込むパ ッケージ

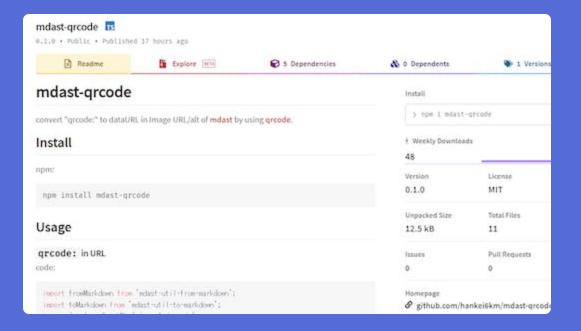
### 概要

以前に実験した「<u>marp で作成したスライドで QR コードを表示す</u> <u>る</u>」を<u>パッケージ化</u>してみたので補足的なメモ。

- npm パッケージ化
- リッチエディタで扱いやすく
- Live Demo
- その他

## npm パッケージ化

- 最近、npm レジストリへ登録する<u>スターター</u> を作成
  - QR code は手頃な題材なので試してみた
- せっかくなので、いくつか気になっていた点を改修



#### リッチエディタで扱いやすく

主な改修点として QR code の記述方法を拡張。

- 旧: src 内の qrcode: のみに対応
- 新: ファイル名に mdast-qrcode.\* を指定することで、親ノードのリンク(URL)等も対象となる

これによりメディアライブラリーへダミー画像を登録しておけば、リッチエディタの UI でも編集可能となる。

※ mardock(このサイト)ではリッチエディタの出力を一旦 Markdown へ変換しています。

#### サンプル(ダミー画像貼り付け)



## サンプル(データ入力画面)



### サンプル(変換結果)



https://github.com/hankei6km/mdast-qrcode

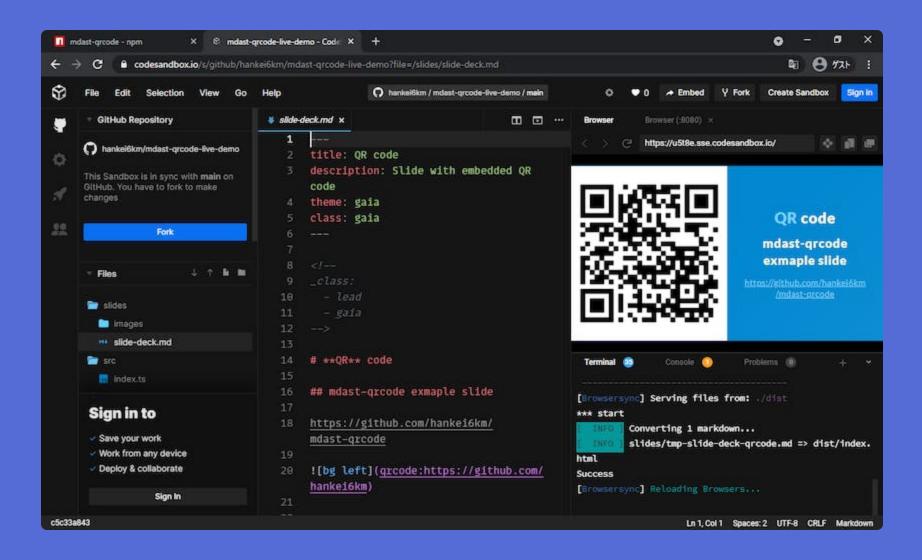
#### Live Demo

#### **LiveDemo**

QR code 対応のソースで marp スライドを作成する Sandbox(リッチエディタではなく通常の Markdown による入力ですが)。

- CodeSandbox 上で fork すればそのまま編集可能
- ローカルへ clone して yarn install yarn start で localhost:3000 を開いても動く、はず

#### スクリーンショット



#### その他

CLIサポートなど。

- mdqr コマンドの追加
- marp-cli と組み合わせることでコードの作成なしで利用可能
- ただし、パイプとして使うことが前提
  - :grcode 変換以外にも Markdown 文字列に影響がある
  - 変換前のソースは保持し、変換後のソースは他コマンドへ渡すの みにとどめるため